

リサーチグループ登録届出書

平成24年 2月 9日

1. リサーチグループの概要

リサーチグループの名称	藻類プロティスト系統分類・進化研究グループ		
リサーチグループの名称(英語)	Taxonomy and Evolution of Algae and Protists		
分野(1. 人社系、2. 理工系、3. 生物系、4. 複合系)			3
設置開始時期	平成24	年	4月
設置終了時期	平成29	年	3月

2. リサーチグループ代表者

所属・職名	生命環境系・教授		
氏名	石田 健一郎		
氏名(英語)	Ken-ichiro Ishida		

3. 連絡先

所属・職名	生命環境系・教授		
氏名	石田 健一郎		
電話	029-853-7877		
FAX	029-853-6614		
E-mail	ishida@sakura.cc.tsukuba.ac.jp		

4. 担当部局(当該リサーチグループの運営等を管理する部局名)

生命環境系

5. 構成員一覧について

共通様式②

名前	所属部局	職名	専門	学位	役割分担
石田 健一郎	生命環境系	教授	植物系統分類学	博士(理学)	代表者
井上 勲	生命環境系	教授	植物系統分類学	理学	
宮村 新一	生命環境系	准教授	細胞生物学	理学	
中山 剛	生命環境系	講師	植物系統分類学	博士(理学)	
出川 洋介	生命環境系	助教	植物系統分類学	博士(理学)	
横山 亜紀子	生命環境系	助教	植物系統分類学	博士(理学)	
河地 正伸	国立環境研究所	主任研究員	植物系統分類学	理学	

6. 構成員数について

構成員総数	7 名
(内訳) 本学常勤教員	6 名
(内訳) 本学ポスドク数	0 名
(内訳) 他機関研究者	1 名

7. 科研費細目番号	主なものから順番に3つまで記載してください。		5706	5704	5807
8. キーワード(5つまで)	生物多様性	系統分類	進化	細胞構造	藻類資源
9. キーワード(英語)	Biodiversity	Classification	Evolution	Cell Structure	Algal Bioresource
10. 研究グループHP	URLを記載してください。 http://homepage.mac.com/ken_ishida/index.html (仮)				
11. 研究グループ概要(100字程度)					
<p>本研究グループでは、藻類・プロティストの多様性の理解とその進化の解明を通して、真核生物の進化・多様化の根本を明らかにする。また、藻類・プロティストのバイオリソースの充実化を進め、我が国のグリーンイノベーション・ライフイノベーションに貢献することを目指す。</p>					
12. 研究グループ概要(英語)					
<p>Our aim is to understand the diversity and evolution of algae and protists in order to know the early evolution and diversification of eukaryotes. We would also also to contribute to the Japan's Green Innovation and Life Innovation through preparing and enriching the bioresource of algae and protists.</p>					
13. 設置の目的及び必要性					
<p>本研究グループは、筑波大学開学当初より日本の藻類学の中核的存在の一つとして、活発に研究・教育を行なってきた。最近では、藻類だけでなく関連従属栄養性プロティストへも広く研究を展開しており、日本の原生生物学全体を牽引するとともに、国際的にも広く認知されてきている。また、近年、理化学研究所と共同で科学研究費補助金の基盤研究(A)に採択されているほか、ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)の「藻類」分野、渡邊信教授が率いる戦略的創造研究推進事業(CREST)「オイル産生緑藻類<i>Botryococcus</i> (ボトリオコッカス)高アルカリ株の高度利用技術」などに参画している。昨年には、我々のグループが計画研究班および統括班のメンバーとして参画する新学術領域研究「マトリョーシカ型進化原理」が採択となった。このように、本研究グループは近年、基礎から応用まで様々な重要研究プロジェクトに参画している。今後も我が国における藻類学・原生生物学の研究を牽引し国際的な存在感を増すために、本研究グループの設置は必須である。また、本研究グループは、認定申請中の「生命の樹リサーチユニット」、「生物多様性・分類・生態研究リサーチユニット」、「藻類研究リサーチユニット」の中の研究グループの一つとしても機能する予定である。</p>					
14. 研究計画					
<p>多様な藻類・プロティストの探索を継続し、それらの系統的位置、分類学的位置、細胞構造、進化、生態について、分子データを含む最新の解析により研究を継続発展させるとともに、特に細胞内共生に伴う細胞進化について、その分子機構を含めて明らかにする。これにより、真核生物の多様性と進化に関する理解の深化に貢献する。また、日本国内各地より有用藻類、有用プロティストの候補を探索し、バイオリソースとしてさらに整備する。また、上記の研究を推進するための研究予算獲得により一層努める。加えて、「つくば国際戦略総合特区」におけるグリーンイノベーション部門や、藻類を用いた放射性物質除去技術開発等に積極的に協力する。</p>					
15. 研究・教育に期待される効果(箇条書き)					
<ol style="list-style-type: none"> 1) 藻類・プロティストの多様性と進化に関する研究分野の更なる発展。 2) 藻類・プロティスト生物学分野の次代を担う研究者・技術者の養成。 3) 藻類エネルギーをはじめとして様々な分野に有用な藻類・プロティストバイオリソースの充実。 4) 藻類・プロティストの多様性と進化の理解が進むことによる、生物学における一様性と多様性の概念のイノベーション。 5) 現在認定申請中の「生命の樹リサーチユニット」、「生物多様性・分類・生態研究リサーチユニット」、「藻類研究リサーチユニット」での研究の推進と展開に貢献。 					